

会 議 録

会議の名称		令和6年度第2回吾妻学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和6年11月18日（月）開会9:45 閉会11:45		
開催場所		つくば市立吾妻小学校 家庭科室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	国府田 友康（会長）、木塚 朝博（副会長） 木村 浩幸、阿部 将史、上野 真美、久松 尚 宮田 征門、井上 波彦、野本 高志、長屋 和宏 古田 雄一、小林 遼平、吉田 麻子 吾妻中学校：校長 菅谷 和美、教頭 諏訪 恵美 横山 英子 吾妻小学校：校長 園田 浩美、教頭 川島 真由美 教頭 野原 俊之、教務主任 秋元 良一 副教務主任 大塚 篤史		
	その他	塚本 忠行、澤田 祐輝		
	事務局	教育局生涯学習推進課 参事：山口 健次 教育局生涯学習推進課 係長：飯島 遊 教育局生涯学習推進課 社会教育主事 村上 和宏 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏		
公開・非公開の別		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		熟議「幸せのバトンリレー！委員会活動を紹介し、CSの方と意見交換しよう」		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1	開会		
	2	挨拶		
	3	前回の議事の確認		
	4	協議		
		(1)教育活動の紹介		
		(2)熟議「幸せのバトンリレー！委員会活動を紹介し、CSの方と意見交換しよう」		
	5	その他		
		・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について		
	6	閉会		

<審議内容>

1 開会

国府田会長：

ただ今から、令和6年度 第2回 吾妻学園コミュニティ・スクール協議会を開会します。はじめに、会議を進行するに当たり書記を決めたいと思います。吾妻学園 上野様 をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

→上野委員 承認

2 挨拶

国府田会長：

- ・コミュニティ・スクール協議会で皆様方から提案された貴重な御意見を取り入れ、吾妻学園がさらにパワーアップすることを信じている。
- ・グラフィックレコーディングを手掛けてくださる塚本さんの紹介。

菅谷学園長：

- ・第1回コミュニティ・スクール協議会から6か月経過し、児童生徒は様々な行事等を経験することで順調に成長している。
- ・各行事（運動会、体育祭、合唱祭）を実施した。
- ・子どもたちが学校運営に参画できるように教育活動を進めている。
- ・子どもたちは地域の方々と連携をすることで地域貢献の意欲が高まることにつながる。

3 前回の議事録の確認

国府田会長：

- ・委員の自己紹介から会長、副会長選出
- ・学校グランドデザイン説明と教育活動紹介。
- ・熟議「児童生徒が参画した学校運営（メイキング）に向けて」

4 協議

(1) 教育活動の紹介

- ・吾妻小学校
 - ・「あ・づ・ま」のキャッチフレーズに沿った活動報告（あ・・・広げようあかるい笑顔、あったかい 心／づ・・・まなびつづけようパズル思考で／ま・・・前に進もう幸せの花メイキング）
 - ・コミュニティ・ステップの取組（ホタル池、吾妻まつり、ランタンアートへの参加、防災キャンプ）
 - ・G Tや地域の方を招いた社会のつながりを深める授業の実施（農家の方、読み聞かせボランティア、キャリア教育）
 - ・子どものがんばりルールメイキング（フレンドシップ校 二の宮小、松

代小との交流、プレゼンテーションコンテストスキルの向上)

- ・ 吾妻中学校
 - ・ 各行事（体育祭、合唱祭、吹奏楽部の大会出場）を通じた地域連携の強化。
 - ・ 吾妻祭りでは、生徒が企画運営に参加した。生徒にとって学びになった。
 - ・ プレゼンテーションフォーラム（県の教育長賞を受賞）
 - ・ 国研の贅田先生による英語科の授業のブラッシュアップ（教職員研修の間、保護者見守りボランティアにより児童の見守りを実施）
 - ・ ピアサポート活動やキャリア教育にも積極的に取り組んでいる。

(2) 熟議「幸せのバトンリレー！委員会活動を紹介し、CSの方と意見交換しよう」

- ・ 小学生 児童による委員会活動の紹介。
児童とCS委員との意見交換。
- ・ 中学生 生徒による委員会活動の紹介。（オンライン）

1 班：ルール作りについてプロセスを踏んで行っているところが素晴らしい。子どもたち自身で考えて、一緒に作り上げていこうとする姿勢が地域との交流という観点では大切。

2 班：地域やほかの委員会と連携（コラボ）することで活動の幅を広げられる。

3 班：フレンドシップ校との交流で得た気づきを活動活かすこと。体力向上活動における意識改革の必要性（日常生活に運動を取り入れるのが良い）

4 班：委員会活動の体験（委員会活動への理解を深める）、地域と児童の活動時間のすり合わせが課題。

5 班：委員会活動における意義の議論、地域との連携強化、専門家からの助言などが必要。防災委員会の設置。

6 班：委員会のアンケートをもとにテーマを選ぶなど、大人の社会でも通用する学びができています。産業医や飲食店の方など地域の大人から話を聞くと参考になりそう。

7 班：委員会の活動1回45分／年12回程度の中で、より良い活動をするため他校や地域との意見交換の場や大人に向けて発信する場があれば良い。（保護者も関心を持てるように）

今後の取組として、地域との交流や委員会活動を広げるため、意見交換の機会を増やし、活動の質を向上させることが重要。

5 その他

- ・ コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について
第3回は吾妻中学校で令和7年2月19日（水）9時30分からの予定。

6 閉会

令和6年度第2回吾妻学園コミュニティ・スクール推進会議

日時：令和6年（2024年）11月18日（月）

9：15～11：45

場所：つくば市立吾妻小学校会議室

次 第

1 開 会（第一部）9:15～9:30 体育館

（1）活動紹介（秋元教務主任より）体育館にて合唱披露

2 開 会（第二部）9:45 家庭科室

（1）座長挨拶

（2）学園長挨拶

（3）座長より

・第1回議事録の確認（グラフィックレコーディングを再掲）

3 学園運営の進捗状況（教育活動）について

（1）小中学校より

・4月からこれまでの教育活動について

（2）中学校より

・4月からこれまでの教育活動について

4 熟議「幸せのバトンリレー！委員会活動を紹介し、CSの方と意見を交換しよう」

※10:10～10:30 吾妻小児童参加 10:30～10:40 吾妻中(OL)参加

（1）日々実践している委員会活動を紹介する。

・活動内容の紹介 ・活動内容から地域に向けて発信できそうなこと

（2）（1）を踏まえ、学校・地域・CSとしてさらにどのような連携が取れそうか熟議する。

5 閉 会 11:35～11:45

会 議 録

会議の名称		令和6年度第1回吾妻学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和6年5月31日（金）開会9:30 閉会11:30		
開催場所		つくば市立吾妻小学校 会議室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	国府田 友康（会長）、木塚 朝博（副会長） 木村 浩幸、阿部 将史、岡田 幸恵、久松 尚 宮田 征門、井上 波彦、野本 高志、長屋 和宏、 古田 雄一、小林 遼平 吾妻中学校：校長 菅谷 和美、教頭 諏訪 恵美 吾妻小学校：校長 園田 浩美、教頭 川島 真由美 教頭 野原 俊之、教務主任 秋元 良一 副教務主任 大塚 篤史		
	その他	塚本忠行（板橋第十小学校コミュニティ・スクール委員長）		
	事務局	学び推進課参事：小野尚文 生涯学習推進課参事：山口健次 生涯学習推進課課長補佐：瓜阪恵理名 生涯学習推進課係長：飯島 遊 社会教育主事：村上和宏 地域連携教育指導員：酒井和宏		
公開・非公開の別		☐ 公開 ☐ 非公開 ☒ 一部非公開	傍聴者数	1人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1号（個人情報）に該当する情報が含まれるため		
議題		1 学校運営の基本方針について 2 学園の教育活動や地域の教育活動の紹介 3 熟議「児童・生徒が参画した学校運営（メイキング）に向けて」 4 その他		

会議録署名人		確定年月日	年	月	日
会議次第	1 開会 2 授業参観 3 任命書交付 4 教育長挨拶 5 つくば市のコミュニティ・スクールについて 6 会長・副会長の選出 7 協議 (1) 学校運営の基本方針について (2) 学園の教育活動や地域の活動の紹介 (3) 熟議「児童・生徒が参画した学校運営（メイキング）に向けて」 (4) その他 8 閉会				

<審議内容>

1 開会

事務局：ただ今から、令和6年度第1回 吾妻学園コミュニティ・スクール協議会を開会いたします。

はじめに、つくば市コミュニティ・スクール協議会に関する規則第6条第2項では、「会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。」としております。本日の出席委員数は19名であることから、会議が成立していることをお知らせいたします。

会議を進行するに当たり書記を決めたいと思います。事務局案として吾妻小学校PTA 副会長岡田幸恵さんをお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。参加委員：お願いします。

事務局：お引き受けくださりありがとうございます。よろしくお願いします。

2 授業参観

3 任命書交付

事務局：始めに「任命書」の交付をいたします。任命書の交付は五十音順で代表者1名とさせていただきます。学び推進課 参事 小野 尚文（おの なおふみ）が任命書の交付を行わせていただきます。阿部委員お越しく下さい。

（「任命書」を阿部委員に交付）

続きまして、地域学校協働活動推進員の御紹介と委嘱状の交付を行わせていただきます。

吾妻学園で、学校と地域をつなぐパイプ役となる地域学校協働活動推進員を協議した際、地域学校協働活動の推進に熱意と識見を有する者として長屋 和宏委員を吾妻学園から御推薦いただきました。地域学校協働活動推進員設置要項第3条に該当するものとして、委嘱させていただきたいと思います。（「委嘱状」を長屋委員に交付）

ありがとうございました。長屋委員お席にお戻りください。

なお、この会議において皆様は、非常勤特別職として任命され任期は1年となり、任期は今年度末までとなります。また、守秘義務等の責務がございます。御留意ください。

皆様の任命書については、机の上にごございますので御確認ください。委員の皆様のご自己紹介に関しては、この後お時間を取らせていただきます。御了承ください。

4 教育長挨拶

事務局：続きまして、つくば市教育長森田から挨拶を預かっておりますので、学び推進課参事、小野が代読いたします。

皆さんこんにちは。教育長の森田でございます。

本日はお忙しい中、第1回吾妻学園コミュニティ・スクール協議会に参加していただきありがとうございます。また、委員の皆様におかれましては、当協議会の委員を快くお引き受け頂き、深くお礼申し上げます。

この吾妻学園では、令和4年度にモデル地域として市内で初めてコミュニティ・スクールの導入が始まり、昨年度は法に基づく協議会を設置することができました。コミュニティ・スクールの導入に御尽力された関係者の皆様、委員の皆様には、改めて深くお礼申し上げたいと思います。

さて、昨年度の協議会では、地域人材を活用した教育活動や、目指す児童・生徒像を具現化するための手立てなどについて、委員の皆様に協議していただきました。

また、キャリア教育の一環として、当学園の地域学校協働活動推進員のコーディネートにより、地域住民による授業「ようこそ先輩！」を実施するなど、学校と地域の連携が着実に深まっていることを感じております。

こうした取組は、現在の学習指導要領が重視する「社会に開かれた教育課程」の理念に合致するものであり、今後も、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進を通じて、未来の創り手となる子どもたちのために必要な資質・能力を育むことが求められています。そのため、委員の皆様には、これまで以上に活発な議論を行っていただくとともに、地域学校協働活動を軸とした学校と地域の連携を、より深めていただければと思います。そして、コミュニティ・スクールを充実させることにより、子どもたちの豊かな成長に加えて、将来的な地域の活性化にもつながっていくのではないかと思います。

委員の皆様におかれましては、つくば市の教育の更なる充実に向け、また、「一人ひとりが幸せな人生を送ることを最上位の目標とする」教育大綱の理念の実現を目指し、今後とも、どうぞ御協力をよろしくお願いいたします。

5 つくば市のコミュニティ・スクールについて

事務局：社会教育主事の村上より「つくば市コミュニティ・スクールについて」御説明させていただきます。

事務局(村上社会教育主事)：社会教育主事の村上と申します。よろしくお願いいたします。

いたします。

わたくしのほうからは、

- 1 つくば市の教育が目指すもの
- 2 コミュニティ・スクールとは
- 3 つくば市で進めるコミュニティ・スクールとは

について御説明いたします。

まず、つくば市の教育が目指すものについて御説明いたします

配付されている教育大綱の冊子を手にとっていただき、1ページをお開きください。つくば市教育大綱では、一人一人が幸せな人生を送ることを最上位の目標に設定しています。次に7ページをお開きください。いま必要なことの中に、保護者・学校・地域・行政が協力し、社会全体で子どもたちの育ちの場を支えることを位置づけています。

教育大綱に基づいたコミュニティ・スクールの導入をすることにより、今後地域の多くの人々が学校づくりに参画し、地域と一体となり、地域とともにある学校づくりを進めて行きたいと考えています。つくば市の学校教育を所管している学び推進課からは、「学び推進方針」を学校に示しています。みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園にするために、今年度特に意識していることは、子どもたちの「自己決定」ができる環境を整えていくことです。また、学び推進課では「伴走から自走」というスローガンのもと、各学校が生き生きと自走していけるように日々関わっています。

続いて、コミュニティ・スクールについて御説明いたします。具体的にコミュニティ・スクールとはどのようなものかを御説明いたします。コミュニティ・スクールとは、一言で言いますと「地域とともに子どもを育む学校」と言えます。コミュニティ・スクールのコミュニティは地域住民・保護者・学校であり、それらが、力を合わせて子どもたちの成長を支えていく学校のことをコミュニティ・スクールと呼んでいます。踏み込んだ話をさせていただきますと、つくば市ではコミュニティ・スクール協議会という話合いの場を設置している学校をコミュニティ・スクールと呼んでいます。

スライドでお示ししているのが、コミュニティ・スクール協議会の様子です。右上、校長先生が学校運営の基本方針、いわゆるグランドデザインの説明をしています。中段、下段の写真、熟議を行っています。

さて、それではなぜコミュニティ・スクールが必要なのでしょう。現在、学校では「いじめ、不登校」「教員の業務量増加」、地域では「地域社会における支え合いやつながりの希薄化」など、様々な課題が挙げられます。また、新学習指導要領では、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という理念を学校と社会が共有することが大切であると書かれています。

これらのことから、学校と地域の課題を解決するために、学校と社会が目標を共有したり、地域と学校が連携して幅広い視点で子どもたちの成長を支えたりする必要があるのです。

それでは、具体的につくば市で進めるコミュニティ・スクールについて御説明いたします。つくば市コミュニティ・スクールには、スライドでお示しして

いる4つの機能があります。

①の機能として、学校運営の基本方針についての承認があります。

学校運営協議会では第1回目に学園長・学校長が学校運営の基本方針、いわゆるグランドデザインの説明を行います。その基本方針に対して委員の皆様から承認を行うことからコミュニティ・スクール協議会がスタートしていきます。ただし、学校運営の責任者は校長であり、コミュニティ・スクール協議会が校長の代わりに学校運営を決定・実施するものではありません。

②の機能としては、学校運営に意見を述べるということです。これから始まるコミュニティ・スクール協議会では、皆さんの様々な視点から御意見を頂ければと思っています。

③の機能として教職員の任用について意見を述べるができます。教職員の任用とは、学校とコミュニティ・スクール協議会が実現しようとする教育目標等に適った人材を求めることです。例えば、学年主任ができるリーダー性のある教員や外国語活動に力を入れたいので、授業力のある教員を求めることなどです。

④の機能として、学校評価があります。委員の皆様と学校の課題について共有したり学校評価について話し合ったりということをしていきます。

先ほども申し上げましたとおり、吾妻学園は今年度協議会という法に基づいた本格設置となります。

委員の立場としても特別職の地方公務員となり、スライドにお示ししているような責任のある立場となっていくしますので、御協力をお願いいたします。

先ほど、「熟議」という言葉が出てきましたので、「熟議」について御説明いたします。「熟議」とは、どのような子どもを育てたいのか、何を実現したいのか、という目標・ビジョンを共有するために、「熟慮」と「議論」を重ねることを言います。ひとことで言うと「よくよく、話し合う」ということです。

熟議では、テーマに対して、委員それぞれの考えを付箋に記し、模造紙に貼り付けていくというスタイルが多いです。熟議に参加する委員の方が、必ず意見を会議に反映させてほしいという意図のもとこのようなスタイルをとっています。

スライドでお示ししているのは、コミュニティ・スクールを自転車に例えたイメージ図です。自転車で例えるならば、協議会で話し合った内容が前輪及びハンドルとなり、「育てたい児童・生徒像」やコミュニティ・スクールの在り方などの方向性を決める役割を担っています。そして後輪には、地域学校協働活動が位置付けられます。地域学校協働活動とは、地域と学校が連携・協働して行う様々な活動のことです。コミュニティ・スクールでは、前輪の協議会で方向性が決まったものに対して、それを後押しするように地域と学校が連携して様々な活動を行っていきます。この地域と学校との連携をスムーズに行うのが、地域学校協働活動推進員の役割です。学校の教育活動に対して地域学校協働活動を進めていくことで、この自転車がスムーズに進むようになります。自転車がスムーズに進むようになるときには、今まで以上に学校と地域が連携し、学校を核とした地域づくりにつながっていくはずです。

地域学校協働活動の例を一つ御紹介いたします。昨年度、吾妻学園では、「ようこそ先輩」という学習において、ゲストティーチャーを地域学校協働活動推進員の方がコーディネートした授業を行いました。このように、地域学校協働活動が活発になると、地域の方々の関わりが、児童生徒の幅広い視野をもつことにつながります。また、地域の方々と関わることで、学校で学んでいることが社会でどのように役立っているかを理解することにもつながります。これまでは先生が中心となってコーディネートしていたのが、今後は地域の方の力も借りて成立するようにしていきたいと考えています。新しいことをやらなくてもよいのです。運営協議会の中で、何が必要か、何をしていくべきかについて地域と学校が熟議し、ともに作り上げていくこと大切です。既存のものをベースに、まずは、「学校理解」「地域理解」から進めていければと思います。

今日お伝えしたいことをまとめます。

- ①つくば市教育大綱では、一人ひとりが幸せな人生を最上位の目標としていること
- ②コミュニティ・スクールは地域とともに子どもを育てる仕組みであること
- ③つくば市のコミュニティ・スクールには4つの機能・役割があること
- ④熟議を通して皆が共有することが大切であるということ
- ⑤地域と学校が連携した様々な活動、地域学校協働活動が始まることです。

つくばの未来の創り手となる子どもたちのために御協力をよろしくお願いいたします。以上になります。

事務局：ただ今の件につきまして、意見や質問はありますか。（意見・質問無し）

6 会長・副会長の選出

事務局：協議の前に、会長と副会長の選出を行いたいと思います。選出につきましては、つくば市コミュニティ・スクール協議会に関する規則の第5条第2項に「会長及び副会長は、委員の互選により定める。」とあります。

事務局としては、昨年度、会長・副会長として活動していただいた国府田委員、木塚委員は引き続き協議会委員になっていただいているので、会長を国府田委員に、副会長を木塚委員にお願いしたいと提案させていただきたいと思います。皆様いかがでしょうか。

参加委員：（拍手）

事務局：それでは、国府田会長、木塚副会長よろしく願いいたします。

この後は、国府田会長に進行をお願いします。

国府田会長：ここで、協議の前に板橋第十小学校でコミュニティ・スクールの委員を務めておられる塚本忠行さんに本日のコミュニティ・スクール協議会委御参加いただいておりますので、皆様にお伝えさせていただきます。

7 協議

(1) 学校運営の基本方針について

国府田会長：それでは、各学校運営の基本方針、いわゆるグランドデザインの

説明及びグランドデザインを受けての特色ある教育活動について、各学校より御説明をお願いします。

吾妻中学校 菅谷和美校長：吾妻学園グランドデザインの説明

吾妻学園の教育目標は、「未来に向かい、たくましく生きる児童生徒の育成」になります。その目標の実現に向けて吾妻学園では3つの力、「学び続ける力」「感じる力」「なしとげる力」を大切につけています。グランドデザインでは9年間の系統性と目指す児童生徒像が掲げられています。この力をつけることで、今後、変化が大きく、先行きが不透明といわれている新しい時代をたくましく生きる子どもたちを育成でき、つくば市が目指すみんなが幸せを実感できる学校を作ることができると思っています。

吾妻小学校 園田浩美校長：吾妻小学校グランドデザインの説明

学園長からも話があったように、3つの力を育成すべく、「思いやり」「学び続ける」そして「成し遂げる」、これらのキーワードを児童や先生方と作りしました。始業式、これが教室に貼られ、保護者と教職員と児童のキャッチフレーズになっています。学校づくりとコミュニティ・スクールは表裏一体だと思っています。吾妻の特性を生かし、持続可能な取組みをコミュニティとともに模索する、学校でも地域でも幸せを追求できる子どもを育もうと、グランドデザインを考えました。先ほど村上社会教育主事からもありましたように、コミュニティ・スクールでは、共通の目標が設定されます。地域と学校が同じ目標を共有するということが一番大事だと思っています。

これは、昨年度のグランドデザインです。今、児童はぴったり 750 人います。外国籍はぴったり 100 人います。この子どもたちが吾妻小でよかったな、心の故郷だなんて思えるように、日本の桜をイメージしました。「Accept」や「Zoom」など、先生と子どもたちが、いつでも言うことができます。

これが今年度のグランドデザインです。昨年、桜の花のグランドデザインを根づかせたいと、去年、塚本さんがコミュニティ・スクールの最後で示してくれたのがこの木でした。この木を元に、先生方がもっと「広げたい」「ズームアップでもっとパズルのように組み合わせたい」「もっと前に進みたい」という気持ちや子どもたちの思いが全部入って、このグランドデザインになりました。特に地域の部分は、「あづま祭り、ランタンアート」それから「ホタル池のルールメイキング」、「防災」の三つを柱として、職員も三つのプロジェクトに分かれています。機動的に、そして持続可能に取り組んでいきたいと思っています。

これは、授業参観の様子です。ホタル池ルールメイキングに協力してくださっている津田委員です。授業参観時には、子どもたちが津田委員の話を聞いて、「これはどうなっているのですか」「これはどうしてですか」とこれから調べたいことを山のように聞いていました。これは地域とともに持続可能な取組みになっていくと思った次第です。グランドデザインは、常に振り返りながら、取り組んでいきたいと思っています。

吾妻中学校 菅谷和美校長：吾妻中学校グランドデザインの説明

グランドデザインを御覧いただきながら説明します。吾妻中学校の教育目標は吾妻学園の目標に、地域に誇れる地域が誇る学校の実現、これを添えたものになります。先ほどの三つの力、これを達成するために今年度の組織目標では、「探究的な学び」「主体性」そして「作り上げる力」この三つを重点とし、組織目標を探究的な学びの実践による学び続ける力の育成、生徒が主体となり作り上げる活動による感じる力、成し遂げる力の育成としました。また5月22日の生徒総会で、生徒会のスローガンと、生徒たちがこんな学校をつくりたいという思いを発表しました。その思いを追記し、実は昨日、リニューアル版が完成したばかりです。今年度の生徒会のスローガンは「糸」です。これは「糸」は縦方向と横方向に交差されて綺麗な布を作る、縦の学年、横のクラスで絡み合い、1人1人が協力し合って過ごせる学校をつくりたい。また、糸の入った四つの漢字、「絆」学校全体の団結力を高める。「継」伝統を継ぐ。「繋」より良いものへ繋ぐ。「縁」人との関わりを大切にする。という意味が込められていて、よりよい人間関係を築き、さらにステップアップできる学校にしたいという思いからなるものです。この組織目標と生徒たちの思いを達成できるように、今年度の教育活動の重点を、それぞれの分野ごとに示しております。ピアサポート活動であるとか、ルールメイキング、そして子どもたちが主体となる行事運営などを通して、先ほど申し上げた主体性などを育てていきたいなと思います。また、一番下にはコミュニティ・スクールの強みを生かした体験的な活動を進め、学校、保護者、地域が一体となって生徒たちを育てたいという思いを込めました。また、全体的にグランドデザインを青くしているのは校歌、「青き理性に」をイメージしたものになります。どうぞよろしくお願いいたします。以上です。

(2) 学園の教育活動や地域の活動の紹介

井上波彦委員：吾妻まつりの説明

先程の中学校の資料の最後のところにも、あづま祭への参加について書いていただきました。あづま祭りという地元のお祭りを行っています。いろいろと学校にもお手伝いいただいております、昔から中学生や小学生を呼んで準備から関わってもらっています。ふるさとの祭りとして、元々、何もないところに作ったものです。卒業した後もここに帰ってくるとか、この公園で何やったねとか、そういうことを創るということを目指して取り組んでいます。

話をしていると、学校が生徒を正式な形で参加させるというのはなかなか難しい、時間の問題であったり、生徒全員が関われたりするかみたいな話です。そういう中で、教育大綱に大人の矛盾性を打破するとか、大人も間違えるのだよねっていうようなことも良いことだとして書いてあるので、大人と子どもで、それは学校も教育委員会もそうだと思いますけど、少し冒険をしていたら、そのためにあづま祭りを使っていただけるようなら大変ありがたいなと思っています。よろしくお願いいたします。

小林遼平委員：ランタンアートの説明

つくばまちなかデザインという会社に所属しています。会社の紹介の後に、ランタンアートの説明をさせていただきたいと思います。最初、1ページと書いてあるスライド、①と②、人と人を繋げる調整機能、街の中でことを繋げる実行機能って書いてあるところがあります。我々の会社、2021年の4月に立ち上げた会社でして、つくば市と地域の事業者で一緒になって立ち上げた会社です。元々、私もつくば市役所の職員で、この吾妻地区に住んでいました。大学は東京へ行ったのですが、やはり筑波は良いなと思って戻ってきて、市役所に入りましたが、このつくば駅周辺のまち作りを行うためにこの会社で現在、働いているところです。この会社自体が人と人を繋げるような調整機能と実際様々な活動をするプレイヤーの機能を有しています。下に写真があります。様々なことに取り組んでいてエキスポセンターの中のカフェも我々が運営させていただいております。あとは、現在、一時的に中止していますが、つくばアズメディア、楽天がロボット配送も少しやっていたと思いますが、それも我々が運営させていただきました。そして裏のページに行ってくださいまして、つくばセンタービルの中で、コーエンという施設を運営させていただいていて、コワーキングスペースとか、どちらかというところ働く人たちに対する施設ですが、研究者と子どもを繋ぐようなイベントもたくさんやっています。写真の右上の子どもが顕微鏡をのぞいている写真を見ていただきたいです。ミドリムシの研究者を呼んできて、子どもと一緒にこのミドリムシのDNA解析とかを小学校3、4年生ぐらいと一緒にしました。そのときに、地域の人と一緒にやるのが大切だということに気が付きました。白衣を着た男の子、これは竹園高校の科学部の生徒です。子ども一人一人に竹園高校科学部の生徒を付けて顕微鏡の使い方とかも教えながら、全体は研究者が教えていく。そういうようなことをやっています。小学校3、4年生ですが、やはり皆さんすごく質問のレベルが高くて研究者が、「んっ」となるような感じでした。あとは地域のイベントを結構やっていて、去年はこの写真の左下にあるようなセンター広場にプール、ウォータースライダーとかプールを置きました。この辺では、プールがなくなっているところもあるので、子どもたちにプールの活動を体験させたりしました。

そんな中の一つとして、最後の4枚目のスライドのところでランタンアートが書いてあります。2009年からセンター広場を中心にエキスポセンターからデイズタウンの間を8000個ぐらいのランタンを灯すような取組をつくばセンター地区活性化協議会という我々つくばまちなかデザインが事務局を担っている団体で行っています。このつくばセンター地区活性化協議会という団体は、このつくば駅に立地している企業が50社集まっている組織でしてみんなでこのつくば駅周辺を賑やかにしていこう、綺麗にしていこうということいろいろな活動を行っています。それを我々が事務局として担い、活性化協議会でこのランタンアートという取り組みをしています。これは、昔からの小学校、中学校の皆様にも御協力をいただきながら取り組んでいます。特徴にも書いてあるように地域の企業と連携して運営しておりまして、当日の運営は、基本的にはつく

ば駅周辺の企業のボランティアが応じています。さらにこの作品については全て小・中学生に作っていただいて、特につくば駅周辺の竹園学園と吾妻学園につきましては、かなり積極的に関わっていただいております。

去年は、吾妻小学校と吾妻中学校が連携してデザインを検討という欄があります。つくばセンタービルの少しくぼんでいる、噴水が出ているこの部分、毎年、学校にデザインを考えてもらっているのですけれども、去年については、吾妻小学校と吾妻中学校の児童と生徒一緒になって考えていただきました。この写真にあるようにオンライン会議をして、デザインを考えていただいて、このような2023年はうさぎがモチーフとなりました。このような文字を書いて当日の設置も手伝ってもらうだとか、やはり、我々、地域と一緒にやった活動をやっていきいたいなと思っております。なので、ぜひ吾妻学園も含めて地域のイベントにも皆さん一緒になって関わりながら、街を盛り上げていきいたいなと考えながら活動しているところです。

宮田征門委員：おやじの会の説明

おやじの会は、2012年の東日本大震災の後に組織されたホスピタリティとなっています。吾妻小学校、中学校のPTAと連携をして、学校教育環境の整備ですとか、行事のサポート、そして、防災環境の観点から、防災の授業やイベントなどをサポートしております。特に、防災教育については力を入れて、吾妻学園防災手帳というものを作って児童生徒たち継続して協力したり、秋は、吾妻小学校防災キャンプを行って、保護者に巻き込んで、企画したりすることで、日頃からその災害というのを自分事として考えてもらえる活動を進める組織体です。最大の特徴は、現役保護者もちろん参加しているのですが、PTAのOB、OGがたくさん参加をしているということです。小学校、中学校のPTAを繋ぐという役割、中学校のPTAと地域を繋ぐ役割、を認識して活動しています。先日は吾妻中学校の草刈りをやらせていただいたのですけれども、清々しい天気の中、朝からみんなでワイワイ喋りながら体を動かして、心も体もリフレッシュできたということで、学校のためとか、子どもたちのためっていう理由で休みましたけど、自分たちがやりたいからやっているというような形、それが多分、緩く長く続けられている最大秘訣なんじゃないかなと思います。すごい技術とか、いろんな工具とか、スペシャルですごい人たちが吾妻のおやじの会には登録していますので、もし何か皆さん、お困りのことがあれば活用してください。

長屋和宏委員：ようこそ先輩の説明

「ようこそ先輩」のことだけ紹介させていただきたいと思います。去年、学校で取り組んでいるキャリア学習について、尾見先生から、おやじの会や卒業生に協力してほしいというお話がありました。非常に面白いなと思ったので、メールをみんなに送りました。その方に、仕事はどんなものかとか、どんなことにやりがいを感じているのかとか、普段だったら言えないような自分の所属するところの良くないことなども語っていただくことで、子どもたちが仕事について考える機会を用意しました。

自分自身が感じたことについて話します。私自身、都市部の出身で、吾妻の子たちも似たような環境で育っていると思います。どのような種類の仕事に就職したいか、話を聞きたいか尋ねたときに、1次産業とか農業とか出てこないのです。大学で話をする機会があった時にも、やはり、1次産業についてはでませんでした。仕事について話す機会を作るとしたら、万遍なく行わなければいけないなということを考えました。アンケートに基づいて行い、子どもたちのニーズに応えたとは思いますが、広く仕事のことを伝えてあげるという観点に留意することが必要だと感じました。今年もそのような活動を行うのであれば、変えながら取り組みたいです。もう一つ、少し疑問に思ったことです。2人の話を聞いたのですが、さっき聞いた人の話と、こっちで聞いた人の話を直接比較しようと思ったときに、子どもからすると、比較しづらいし、質問するにしても比較するべき回答が返ってくるか分かりません。それならば、パネルディスカッション的に話をしてもらった方が効果的ではないかということを思いました。もしできるのならば、そういったことも仕掛けていければいいなと思っています。

国府田会長：御説明ありがとうございました。先ほど教育局から説明がありましたように、コミュニティ・スクール協議会の機能の一つに、「校長が作成する学校運営の基本方針の承認」があります。委員の皆様にグランドデザインへの承認をお願いしたいと思います。令和6年度学園・各校のグランドデザインを御承認いただける方は拍手をお願いいたします。

参加委員：(拍手)

国府田会長：ありがとうございました。校長先生方におかれましては、本内容にて学校運営をお願いいたします。

(3) 熟議「児童・生徒が参画した学校運営（メイキング）に向けて」

国府田会長：続いて、熟議に移りたいと思います。ファシリテーターを吾妻小学校の野原教頭先生をお願いしてよろしいでしょうか。

野原教頭：はい。よろしくお願いします。

国府田会長：お引き受けくださりありがとうございます。では、野原教頭先生よろしくお願いします。

野原教頭：熟議のテーマは「児童生徒が参画した学校運営（メイキング）に向けて」です。4つのグループに分けて行います。熟議の流れについて確認します。初めに、児童生徒が参画した学校運営（メイキング）に向けて、「児童・生徒」「地域」「学校」ができること、取り組むべきことなどを考え、付箋に意見をまとめます。続いて、付箋に書かれたことを紹介し合いがら、用紙に、付箋を貼り付けます。付箋を貼り終えたら、互いに考えを伝え合いながら、テーマについて考えを深めていきます。

時間になりましたら、各グループ、1分程度で発表し、考えを共有します。

(各グループでの熟議 25 分間)

野原教頭：熱心な協議ありがとうございました。それでは、Aグループから、発表をお願いいたします。

(※熟議の発表内容については、塚本忠行氏による「グラフィック・レコーディング」によって記録)



グループA

- ・自分たちのまちを活性化するための意見を吸い上げ、協議する場の設定
- ・将来の自分の姿を考えながら、学校、地域、自分の創造
- ・自分たちの手でより良い学校を創ろうとする風土の醸成

グループB

- ・コミュニティ・スクールへの児童・生徒の参加
- ・地域行事への参画（小・中学校、高校）
- ・児童生徒の意見、自主性を尊重した学校行事

グループC

- ・児童生徒によるコミュニティ・スクールへの参加
- ・ルールは自分たちの意見で変えることができるという意識付け
- ・子どもたちが大人に意見を提案できる機会の確保

グループD

- ・熟議内容のフィードバック
- ・ポジティブ思考で失敗を恐れず挑戦

野原教頭：貴重な御意見ありがとうございました。いただいた意見を学園で共有して、児童生徒が参画した学校メイキングにつなげていきたいと思ひます。本日はありがとうございました。

国府田会長：ありがとうございました。最後に委員の皆さんから何かあります

でしょうか。

(4) その他

野原教頭：今後のコミュニティ・スクール協議会の予定です。第2回目は、令和6年11月18日(月)9時30分から吾妻小学校で行います。第3回目は、令和7年2月19日(水)9時30分から吾妻小学校で行います。

8 閉会

国府田会長：それでは、進行を事務局へお返しいたします。皆様、スムーズな運営に御協力いただきありがとうございました。

事務局：国府田会長、協議進行、ありがとうございました。本日の会議の内容は以上となります。

また、お手元に「つくば市コミュニティ・スクール評価ガイドライン」を配布させていただいております。こちらは、市教育委員よりコミュニティ・スクールの運営にあたり念頭においていただきたいと示されたものです。チェック項目について御確認いただければと思います。提出を求めるものではございません。折々において御活用いただければと思います。

なお、本日の会議の様子を、つくば市教育委員会ホームページにて写真を掲載させていただきたいと思います。委員の皆様、よろしいでしょうか。

(委員、承認)

以上をもちまして、令和6年度第1回吾妻学園コミュニティ・スクール協議会を閉会いたします。本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。